

秋山 紀夫(終身名誉音楽監督)



旧大宮市生まれ。武蔵野音楽大学卒業後、東京藝術大学へ内地留学。また、アメリカのイーストマン音楽大学へ留学。この間、大宮市立桜木中学校、県立大宮工業高等学校の吹奏楽部を指導し、全日本吹奏楽コンクール出場へと導いた。埼玉県吹奏楽連盟理事長、関東吹奏楽連盟副理事長、全日本吹奏楽連盟副理事長、日本吹奏楽指導者協会会長を歴任。武蔵野音楽大学講師、ソニー吹奏楽団常任指揮者を務めた。1992年12月、アメリカミッドウェスト・インターナショナル・バンド・クリニック委員会より世界の吹奏楽指導者を対象とした第1回世界吹奏楽賞を与えられる。1995年7月、世界吹奏楽指導者協会総会において3人目の名誉会員に選ばれる。また1998年に大宮市文化賞、2013年下総統一音楽賞、2014年旭日双光章を受賞し、長年にわたる功績をたたえられた。現在、(社)日本吹奏楽指導者協会名誉会長、アジア・パシフィック吹奏楽指導者名誉会長、WASBE(世界吹奏楽協会)名誉会員、アメリカ・バンドマスターズ・アソシエーション名誉会員、(社)全日本吹奏楽連盟名誉会員、浜松市音楽文化名誉顧問を務める傍ら、アマチュアバンドの客演指揮者、バンドクリニックの講師として後進の育成にあたっている。2009年、おおみや市民吹奏楽団終身名誉音楽監督就任。さいたま市在住。

野上 博幸(客演指揮者)



東京コンセルヴァトアール尚美管弦打楽器部門卒業。トランペット専攻。トランペットを山口進一郎氏、吹奏楽指導法を小澤俊朗氏に師事。現在、東京プリリアントブラス団員、ヤマハ管打楽器講師。その傍ら、日立製作所横浜事業所音楽隊(神奈川県)、創価学会埼玉吹奏楽団(埼玉県)、福島ウインドアンサンブル(福島県)、及び、ミュゼ・ダール吹奏楽団(東京都)の常任指揮者を務める。職場・一般バンドや全国のスクールバンドの講師として、アマチュアバンドの指導に力を注いでいる。21世紀の吹奏楽“饗宴”会員

おおみや市民吹奏楽団

高校や大学のOBバンドという母体はなく、1993年に秋山先生を中心とした発起人の方々の呼びかけに大宮市内在住または在勤の音楽愛好者が集まってできた純粋な市民バンドです。メンバーは18歳から60代まで幅広い年代が集まり、団員数は約70名で活動しております。現在、終身名誉音楽監督の秋山紀夫先生のご指導の下、プロの指導者によるパートレッスン等さらなる演奏技術の向上を図るとともに、音楽文化の発信源として「生活の中の音楽」を心がけ、いつでも・どこでも・誰でも・気軽に楽しめる音楽を追究しています。主な活動としては、毎年春と秋に行っている演奏会を中心に、アンサンブル発表会、小・中・高等学校との合同演奏会、市や企業からの依頼演奏、地域行事への参加など。また国内・海外の楽団との交歓演奏会や演奏旅行なども多数行っています。

- 2002年 初の海外演奏旅行 韓国原州市での合同演奏会に出演
- 2004年 韓国の吹奏楽団「アパッショナータ・ウインド・オーケストラ」を招いての「日韓合同演奏会」を開催
- 2007年 アメリカ演奏旅行 サンディエゴの「コースタル・コミュニティ・コンサートバンド」と「海を越える握手」と題して合同演奏会
- 2008年 台湾への演奏旅行 嘉義市での国際音楽祭へ出演や台北市の吹奏楽団との合同演奏会など3公演に参加
- 2010年 台北の吹奏楽団「台湾管楽団」を招いての合同演奏会を開催
- 2012年 ハワイへの演奏旅行 ホノルル・コミュニティバンドとの合同演奏会に出演
- 2014年 6月14日にホノルル・コミュニティバンドを招いての合同演奏会を開催
- 2015年 4月4日にドイツ・ウェストファーレンウィンズを招いての合同演奏会を開催予定

おおみや市民吹奏楽団 団員募集のご案内

- 入団条件 18歳以上(高校生は応相談)で楽器演奏経験のある方
楽器(打楽器を除く)、譜面台等は個人持ちでお願いします
- 練習場所 さいたま市内のコミュニティセンターなど
- 団費 月3,000円(別途演奏会参加費あり)
- 練習日 毎週土曜日17:30~21:30 (※演奏会前など、日曜・祝日の練習もあります)
- 練習見学 楽団ホームページ <http://occb.or.tv/>
『問い合わせ』のメールフォームよりお気軽にお申し込みください
- メールアドレス occb@hotmail.co.jp